

無限大+

ICT活用の可能性は無限大、子どもたちの発想力・成長は無限大、ということで、タイトルは昨年度から「無限大」になりました。今年度は、そこに新しい教職員、子どもたちで新しい挑戦！と意味を込めて「+」（プラス）を入れています。

三田市立志手原小学校 研究通信 No.2 2022. 10. 14

2学期が始まり、もう1か月が過ぎました。学校ではスポーツフェスティバルが終わり、音楽会に向けての練習も徐々に始まっていく子どもたちにとっても忙しい日々が続いています。次の目標の音楽会に向けてそれぞれの学年で練習に励んでいるところです。

その中でも、ICTを活用した学習やプログラミングの学習を進めています。3・4年生、6年生の学習の様子を紹介します。

3・4年生（図工）

「アニメーションを作ろう！」という学習をしました。iPadで写真を撮影し、「Komakoma」というアプリを使いコマ送りに再生して、自由にお話を作る活動です。身の回りにあるもの（文房具など）を使って、面白い動きを目指して作成しました。子ども達は、絵を描いたり筆箱や針金を使ったり、使う物も工夫しながら、面白いオリジナルストーリーを作り上げていました。これからの図工でも面白いアイデアを楽しみながら考えるきっかけになるとと思います。



6年生（総合）

「SDGs『未来の地球づくり』～ドローンを活用したプログラミング～」という学習をしました。SDGsとは何か？地球のための目標は何かがあるのか？という所から考え始め、未来の地球づくりのために、ドローン（TELLO EDU）を用いて、SDGsの課題を解決する活動に繋がりました。SDGsの目標である「住み続けられるまちづくりを」「海の豊かさを守ろう」について、ドローンで課題解決するアイデアを自分達で考えて、実際にドローンをプログラミングして取り組みました。



この実践が認められ、全国選抜小学生プログラミング兵庫県大会最終審査にて発表することとなりました！6年生で力を合わせて頑張ります！